だ

IJ

第84号

発行所

星 と易

断によ

る

一月七日 《学では子十二月 (大雪) 月 の 運 節 生気

破		
6	2	4
5	7	9
1	3	8

破		
6	2	4
5	7	9
1	3	8
	•	

_		
月 五 日	気学で	天道
小	は 丑	
寒)	月	
節	/ •	
入		

天道

Ш.

得になら ので慎 月 は吉凶 月 筮 どの 筮 ない。 重、 次第で決 仕 地 早 結 雷 カードや 一銭漏 果が交わ 復 しさを。 いまる。 お \mathcal{O} 対 上六 出 処 7 が

白 水墨の ス の 運勢

節 事 知 良 親 十二月 月筮 なりがちで散 戚へ を処 恵を借り 十二月は 理。 気にし の挨拶など評判 F腸と持 多忙 急ぐとミス 天大 な 居 風 7病再発 以財あり の整理 **V**) 仕 次 で人の 事は ハ々と用 の六五 壮 上 か。 B 甘 が が

は たな方針 は安定維 になり が生ま 神経柔軟に。 持、 心 が 口 年配者の 機 家庭 れる。 転、 視力 交際 ば

二黒土星の人の運勢

水 雷 屯 の六二 です 胃 疲れ、 旧

生

気

が入るので楽 く 平 風 は 愛に悦び。 \mathcal{O} 邪咳、 無駄を省くこと。 正月 構想が根付くのは春。 -穏に進 は 足腰、 古 外 部 める。 風 しみ。 な 疲労など。 から 親 子 11 今後 金 朗 が 運 報 \mathcal{O} ょ

一碧木星 の人の運勢

経 なりがち。 にず 表 さで磨く。 処理 現は言葉より 十二月 月 内 が 部 月 モノ したいが を固 筮 をいう。愛情 大掃 仕 め 外 地 風 る。 事 沢 沢 八中孚初-態度で。 は確実に 手を広げ 除 スローに 几帳面 は熱心 の六五

冷 は家族 方法だが え寒さ、 新 年は が仲良 実績は 肝 活 三気が 胆、 知 腰 人との が楽 (く) 団 痛、 張 たあるの 小さく らず。 眠大切。 [欒が 不眠。 再 宝 生 積 で

の

十二月 月 暮 筮 6 筮 水 水 沢節の六三 訟の九二 をするこ

特定非営利活動法人 岳易館・有宵会 編集 広報部 松戸市新松戸1-64

です。 ば は 語め

五 黄土星 の 人の 運 勢

調

路線吉、 る間 筋 安らむ。 先 十二月筮 月筮 知人と 年末風 延ば 肉、 題は急を用する がなく多忙、 関節 景は 予定出費が多 < の 0) 山水蒙の れぐ 親睦で気持 案件あり 沢天夬の 神経・ のんびり れも対話 疲労。 山積 が 六四 処 九 理 \mathcal{O} 兀

が 早く着手。 未 は カュ 処理は がぜん 一月は あり余裕心で参加 ら始まる。 感染、 気が 面 旧 会合 年 中 からの課題 こや祝儀 入るの 旬 家庭 疲 0 を。 情 で 0 報

過 出 画 は

は長期に

わ

り成

果

けが大切

ŧ

 \mathcal{O}

計

風

邪、

痰

咳、

消

化器

系。

月 月 筮 筮 地 火 Щ 風 謙 鼎 0 \mathcal{O} 初 上 六

忘れ物用 とになるで の上 ても出るの 旬、 ド く思 ウ り L 応 で お ツ ょ カリ中 締め い出 ずる。 う。 金 は る。 固 づく 何 < 旬 事 家

8

+

月

は

活 火

が 暌

湧 \mathcal{O}

沢

問

は解

消 が < 九

 \mathcal{O}

づするの

良

羽目外さず健 のど風邪、 冷静さを保つのが に気遣う。 穏にいく、 一月から調 公 ず 私共 気疲れの り 康管理 目標定ま 仕事と金 子に乗ら 人を大事に 強さが肝 養生。 ?賢い 番。 運 ず 要 れ 気を緩 です。 出るの 下 ば 借 定 流 を こと、 有益、 旬の 回見 りて志望 高める工 ムード、

腰

金星の人の

す が ま る け 気 手に遣う が \mathcal{O} 延 久い 十二月 **公分良け** パート 正月は 年末作 月筮ー かな 地 び 戦 道に ても再 筮 慎 待つこと。 が重に。 否は 爽 Ó 努力。 ナーに 場合が多 れ 戦 火天大有の がば体 が暮 会あ Þ は 地子の 混 カン 気呵 小金を上 さを心 恵ま 無理押し 在 調 \mathcal{O} 予定は してい 財布 良 仕事 成 九 六 れる

十二月 白 筮 雷 火豊 の 0 六

今月

足腰痛 持たれ

は疲労と胃腸に負 一月になると運気は まず人脈 込み 失言にも で見栄を張らずに。 痛、 ず人には好感度 が上がる。 は 主を決め 先人の 運 違 手 は伸び 胃腸など。 いを防ぐ。 固 用心。 交際費が をつくれ < ること 知 進 運勢 担。 恵を 悩 ょ め 体 む 安 交際は のどと歯、 れぐれも強気は損気です。 庭も筋を通 て 循 が 前 は接する。 通じ 向きに行 月 懸案の 筮 一を選ぶ。 肩肘 触れる喜こび。 月 け 気管支と筋 て慌てず静か <

金

運は警

戒。

沟痛。

張らずソ

クト

11

0 面 題

で待

機。

では

意思

ふるい

に

かけ

に

すこと。

0)

<

仕事も家

の人の運

血

圧、

睡

眠

兀

持

が多い 力 す 十二月 で世間 月筮丨 任せ 越しは派手に 湯合が 7 が 筮 福を を渡る れ み る。 水雷 あ ば \otimes 火 ŋ 招 疲 括 地 いてみる。 なり出 のが吉。 順調 晋の ŋ 屯 三人の を は 癒 \mathcal{O} 運 上 初 費 B 喜 九 気

めるも 否 ても本年は が お飾りに に無 の対話と信頼をモッ 年 は 然と処す。 \mathcal{O} 正 事には 月の 期 消待を込 風 成 情

九 月有宵会報告

成11年5

月

19

日

立.

筮

1

ずる

0

卦

まだ力が乏し

い等 物

のの

6

が

生

0) 義がありました。 ŋ 名 重 月 実占例」についての講 おみくじ」について、 弱と少な目の参加とな 日 会定例会が開催されま 川裕梨先生からは なったためか、 月三 一会館 お水取り最良 この日は今年 た。 一日中宮と揃 プルミエにて有 日 先生からは $\widehat{\pm}$ 六十余 の目と 勤 う目 易 · の 年 平 成 11 勤務、 合い B 子 当

先生からは「有宵会だよ り」につい て、 外部の人

有 工夫されているそうです。 なる様、 なるべく平均的な内 表現なども 執筆者

Щ 裕梨



んで下さっているの いました。

の労いの言葉から会は

「易占による結婚

私の職に 当 時 32 人っ子 の 母 の . 時 37 求筮者はB子の母 昭 和 37 私の 昭和42年7月 40 才 才 年来の友 0) 二黒土星、 20 男の伯母 同 六白金星、 年 6 僚、 年 В 来 子 週 2 回 ,の母→ 月 0) 親 つき \downarrow 生 長 1 私 2. \mathcal{O} か不 1. か連絡もしてこない。 その気があるの

聞きました。 でお見合いをする。 出来ますでし 占的では、ず こよう. ば り結 かと、 婚 が

じると震為雷です。 六二が正応である為、 はまとまるのでは、 交際の卦であり、 沢雷随 0 九 九 五. と思 Ŧi. 話 لح 変

ると、 来週、 と結論を出しました。 出勤した際に言って ば結婚までいくでし 数回のおつき合い B子さん デートを の母親 を よう 11 す ま が n

んだ。

B子さんの母親もその後、 様子は聞かなかったし、 の方から も云わなかったので順 いっていると思 特にその 0 7 後 ŧ 5

して、 突に言われ大変ビックリ ち お 結婚の話を断ったと唐 んの母親が A 男さんと 断な所があって気が利 よっとすぎた頃、 ハッキリしなくて優 見 合 理由を聞くと 1 7 か 5 B 子 力 月 柔

ました。 私 と 連絡をとり、 は \mathcal{O} A 男 さん 理 由 で 断 0 ったと言 どうな 伯 日母さん

IJ

年5月

16

日

松

戸

とと、 ました。 とはまったく違っており В ているのか聞きました。 子さんの母親の言うこ 伯母さんの云うこ

た時、 行って中華街 阻 5 を 伯 母さん 止 B子さんが手でそれを 注 1 であげようとした A男さんがビー 自 11 分で注 わ で食 事をし いで 横 浜

ことを嫌でなか ま 出 ことが気にいらないかと それをA男さん 来なかったと言 の連絡があるはずと 積極的 B 子 さん には連絡が つたら が は lいます。 自分の 自 分 何 0

です。

さんの した行為ではないらしく、 れ В 知らないままでした。 В 双 方の 切報告し 子さんにしてみ 深い意味があ 母親はその事 話 記を聞い はビー て 7 れ

過ぎてB子さんの母親が つき合う気持ちがあるん 母親に電話をしました。 業を煮やしてA男さん お宅の息子さんは娘 の連絡もないまま日 لح

ですねえとも 車の 運 転 が 下 言 ったそう 手だそう

く

穏やかり 場をとり 親の言い方に驚いて息子 もその様なB子さんの 連絡させますと、 な Α 男さ W \mathcal{O} その 母 母 親

たそうです。 う必要もないと 方をされてまで、 A男さんの 常識 月、 を欠いた言 親子にしてみ の 。" お 断 ŋ 11

どうして、 0) 様 な

ょ

て

難

生 \mathcal{O}

ま

えて

たと

ことでし

様子を見ようと

A男さんはかなりガッ はなかったらし 嫌だとか思っていた訳 したそうです。 おらずB いです。 ルの件 みると、 実 0 ば で て 子 \mathcal{O} 力 そ は が います。 しろ、 易占となりました。 もう少し す ま \otimes ダ す。

カュ

ですか!ときつい 口調 で

つくろっ たそう 70 占的には市川 平成26年12 X の日 才

つき合 結論 雷屯は四大難 水雷屯の 桂

胞

は前と同

示

小

 \mathcal{O}

結果的には「当たらない」 要性があったと思います。 ない者どうしの場合には 見合いなどお互 ら結婚OKとみますが、 ねているカップルだっ な結果をもらたしたとみ はおつき合い たのでしょう でに何度もデートを重 てしまったことが残念 卦を得ながらダ この卦は見合 恋愛にし 時間をかける必 なのに途中でや ってくれて か?沢雷随 る、 いを知ら メに もう いに ことが当たらなか たとみるの < 冷 り占断は外れました。 より2mm大きくなっておところが結果を聞くと前 ずと判断しました。 う胞は現状維持で変わ 乾と坤が交わって いざ自分のこととなると 意味を持っている為、

② 病 占 (膵のう胞)

因だと思いました。

い判断が出

来な

かった

0

た原

い込みが先行して、

正

からのう胞が大きくなっ 芽がめばえている卦 静に判断すれば、

新

で

が普通です。

でも私は心配しま

せ

 λ

で

屯

0

掛

悪

その後、 受けたエコー検査で膵 私が59才の時に に予約をする。 にのう胞がみつかる。 し、その年もいつも 定期的に検査を たまたま \mathcal{O} 様 臓

検査をしますが、 医大でMRCP (膵臓) が12月8日に文京 様異常 裕子 日 が (当 <u>寸</u> ない のう 筮 変 さくなって現在も平穏も 結果はのう 半年後に受け て止まるとし大事に至ら の場合の 水 さをしないし、 の出来ない卦ですから 二爻とは は まだ十分に伸 いと思いました。 沢節に変わります。 判 云え水雷 胞 断 たMRCP検 が気持ち は節度もっ 変じると びること

事

実、

月 1

ħ 0 断 方 法 0 つくづく 違 普 易は 通 が \mathcal{O} 難

かと

私

なり

断 じま

結

婚後はどう

カゝ

?

は

占

をしていました。それ

年間ずっと続

たのではないかと思った ドバイスをすれば良かっ \vdash 足

ントン上下に動かす体

い。」と、勢いづけるア

のかかとを床に

こつけて

「五回位はデー

トしなさ

た。

市川先生も具体的に

も積極的に出られなかっ

電話一本も出来ずにその

たので、B子さんも御礼

女性の方に問

題

が有

り、

ままになり、又、A男さん

平成29年11月吉日 では 何故、

だけが特にのう胞が大き ともなかったのにこの年 を長い間、 のう胞が大きくなった原 くなったのでしょうか、 を執ってみますと、 はなんでしょうか。 受けていて何 雷

りは、

隨

から之卦

0)

火豊の六二

変じると雷

無いが、ガァー

『震為雷』

は

卦をしたとみまし

ました。 た骨量を増やす運動を 考えられるのは私は、 密度を上げる為にTVで見 が 天大壮です。 減ってきているので骨

有 えて骨量が全体に増えま そして時期がきてMRCP検 年の暮頃まで続けており 結果が出るその 骨に刺激を与 そうです。

この易に対して、

ま その運動が L 刺 たのではないかと思 激して悪影響をもたら それ以後はその のう胞までも 運 内卦とする。 外卦とする。 準として男を外卦、 決め難い時

う 胞が大きくなったので 物と見)それによりの 変じると乾になり(腫 で揺さぶられ内卦の はしておりません。 離 の一本に絞る方が答えが いか?悪いか?」ではな わかりやすい。

占う時は結婚して「良

以上 を良 否に わ け

ると

V

検

した。

雷』は変じる卦というよ 自分の感情だけを言われ 母親が『震為雷』の 伏している卦とみ 腹に一物は ガァーと ている。 ある。タイプが違うと思っ 爻では男性の方に迷いが 内卦は動くのですが、初 からず喜んだと思います。 ている良い卦です。この ては、 が出た時、 条件などは 両家は少な 占

が、 二人の問題というより三 打 に合わせる臨機応変さが 数回付き合ったり、相手 人に問題が有るとみます。 ったかが問題です。 れば解り合える卦です 男性がどの様な手を

生が結婚占の場合の要点 について説明がありまし 陰陽を基 福田先 学に対しての能力は充分 要求されます。 あくまで易の答えで状況 0 0) でありません。但し、易 \mathcal{O} し、又、すぐ結果が出る 病占に 判断能力は有ります。 判断を出す。 医学的に

相談者は内

相

手

は、

女を

踏み込んではいけません。

川先生の病占に関して

なか難しいのです。手術 れで解ります。 化 をするか否かでは易 合、答えを出すのはなか だから増えた。状況はこ を覆っているもので『豊』 けて外に飛び出してしまっ が分裂して、 してい の妙技があります。 初爻と三爻はまわり ま す。 あるいは欠 病占の 膨 れた 0) 場 決 所

生からのお言葉でした。 の後、 いました。という福田 ただいてありがとうござ 立派な占例を提供して うして発表するに値する とは素晴らしいです。 た占例の検討ですが、 今回は敢えて当たらなか 研究するというこ そ 先 0 11

で非常に厳しい実力を 対しては、 私達は医

断 う変化したか?" の二爻でここが原因です。 なったか?」で『雷火豊』 は「なぜのう胞が大きく 膵臓の中ののう胞がど として、 乾 いから離 卦の判

占的を「良いか?」

拝いたしました。 あ 神では宮司さんに祝詞を 観られませんが、神田明 げていただいて正式参 かい所まではなかなか しく 廻る で

凶を変じ

なか

な

おみく

た

に

大

ます。 みます。 たり、 これが日本で神主になっ が笏を使っていました。 てみるとおもしろいです 元々あるものを深く調べ して用いられています。 では笏(しゃく)を使い これは(しんしゅ)と読 いう字が書いてあります。 堂孔子廟には「神主」と 神主」と言えば湯島聖 後世、 周の時代から役人 道教や特に儒教 位牌の型と

おみくじについて」 福田有宵

又、

日本占

術

ね。

春日大社からです。

大吉

最初は

+

年度の暦が出



ります。

楽

余名でバ 明 会では江戸博物館、 神、 の目」に、 去る九月九日 湯島聖堂など七 スツ ア 日] 本占術協 世 を |界占 神 行 田

が

笑うことを心

トに貼っていて、 年前からおみくじをノー かと言いますと、約五 私が何故おみくじに熱心 必ず示されています。 中でどの様に出ているか? たりします。 都合で動くことが多く、 体、人は自分流に自分の だきたいと思います。 過すことを心掛けてい を心掛けて、なごやか じを参考にして一日一善 じて頁をめくり、 目をつぶり願文を心に か感心ですね。 さ つまづいたり、ケガをし て吉にするのです。 れたそうで おみくじの

腹を立てない、にっこり すと、大体吉が七、凶 いたしました。まとめ ある御夫人が四 書き込みました。 にアレンジして頁ごとに じ」を今年から載せてお まして「めくっておみく らという事で昨年提案し 年同じではつまらないか 「めくっておみくじ」を の割合になります。 観音籤を私なり 掛 ました。 協 会では 浦和 ケ 月 が ま 間 通しをみました。 引いております。 しいです。 いますが、これも又、 れでおみくじの型式は違 ど色々あります。それぞ 大船観音、 に武田神社、 七年に久遠寺、 です。その他、 いただいてきます。 私は吉も凶も 大國魂神社な 越喜多院、 三十八年 昭和三十

けて過ご 楽寺では どうだろうか?全体の れぞれの寺でおみくじを カ所を半月で遍路 昭和四十一年には八十八 凶 で す。 道中は 二番 一番は してそ 区 0) 場 極 見

7 五.

てい

長さは六十セ

は紙に書いて「こより」

又、

たも

を引

7

す。

良

源

恵

大 師

順で人気があります。大 お守り、 を示してくれるのです。 阪では商売繁盛が一番の 東京では熊手、 おみくじから外れますが 「縁起物」があります。 は注意するところなど お 札、 お守り、 大阪では だるま お 札 の

初詣の賽銭も大

ます。 勢判断は東京です。 くじは十五%~三十%の 比率ではないかと思われ どで判断しますが、おみ 通安全のお守り、 阪の方が高額です。 運勢判断」では暦、 のお札、 縁起物は大阪、 おみくじな 魔除 け、 交

有 と三つ有ります。 う読みで「孔子」 (くじ) くじという字は 古事記の時 陰陽道から来ていると言 (くじ、せん)「鬮」 (くじ、く、きゅ) とい からくじは有り、元三 れています。 様以前は中国の天竺 代、神道の時 日本では 「籤」 古くは

などです。どういう意 われている所が有り、 出しています。日蓮宗の 同じ六十四本のみくじを かをとらえています。 『坎為水』 『乾為天』『天地否 では易の六十四卦が使 います。 本の 所も有り紙符を (蛙の寺)で易と 『沢風大過』 日 本では日限 使 味 玉泉寺の住職によれば縦 櫃 1 わ

寺

出て、 した。 ました。 泉寺に伺い、 内に元三大師 みくじの話が一昨年から がって行きます。 縁とは不思議 ています。 んにお会い になった滋賀県長浜の玉 そうこうしてい 今年の暦に載せま する機会を得 吉田住職 なも のお生まれ 私も 0 で繋 さ る お

記の たりします。 Ł それではどうするか?お す。人間の頭の中は限 藤原定家の漢文の 三十四年「日 おみくじに 示になったり、 告げを受ける。 れていて先は見えません。 のが有るのです。 中にでてきて 0 与えられる いては 本書紀」 託宣になっ それ 「明 、 が 神 V 九 5 ま 百 月

寺が源になっています。

(ひびき)で神託を表

百三十本使って占なわれ

現在は台湾の

したと言われています。

りくじ」などが有ります。 昔はお金に縁がある神社 元三大師の観音籤の「振 神社に変わっています。 でしたが、今では学業の では湯島天神が有名です。 「突きくじ」、「富くじ」 の中の ゆるくじ もの を槍で突く 引きです。

0 元 が出ます。ヘラが出るのに振って一本だけ竹ベラ じ」、古代ギリシャでは 御幣や榊に付ける「玉く で、どんな型でしょうか? れています。 処刑された原因とも言わ に反対したソクラテスが 役職をくじで決め、これ

なく、 境地になりました。 時はその奥深さに感嘆 奥に有ることがわかった のだけで判断するのでは ています。 四句の漢詞でまとめられ 観音籤は百番までで五 本当の内容がその 書いてあるも の

三大師は九百十二年に 後からつけられた名前 まれ九百八十五年正月三 観音籤の創始者である元 六%で様々です。 日に亡くなられたので、 大師十七%、 鶴岡八幡 で 生 宮

> 姿です。神仏に関わる方 顔を向けて プリントの らたかな超能力の方です。 る方はいません。 と、大師程名前 大 師 大師 頭頂が高 御影像は左横 が沢山有 霊験あ 角 い御 大使

> > 才

祭囃子が

ر ا ا

Ľ

山有るが、その 様々を学んで、 しているのではないか? 頭上は凹んでいます。丘、 を用いるかは 達は一つ覚えで答えを出 仲尼と言われてます。 知 恵でそ 中 知識は沢 \mathcal{O} どれ れ 私

とは言えません。

孔子は

日

はこうかと言うと、そう

三大師のおみくじを使

陰陽道の

晴明神社では

両大師 でしょう。 はお話をしてくださいね。 和尚)に行かれたら良 では深大寺、上 元三大師のお詣 (元三大師と天海 お詣りする時 りは関 野寛永寺 東 11

せて するのに必 は大変なので、 ら河野がおみくじを判断 ントを読んでいただきま この後、 る箇所をざっとまとめ したが、 の刊行に想う」のプ いただきました。 「元三大師 全部筆記するの 要だと思わ 諦 座 僭越なが 主 百 ヘエ 籤 IJ 和 さ れ

と成田山は十八%、 吉凶の数は大吉でみます

川崎

魔 観音籤 いみる場 合 0) 兀 句 を年令 句 は 十 的 五.

> で、 二句の夏そして秋冬です。 は一句が春として、次は す。六十一才からは初句 句が六十才までと分けま にもどります。時期的に ケ月は一週間ずつ。一 は朝、 ま 三句が 四十五 で、 昼、 句 夕方、 が三 才、 夜と 才 ま ラ、ピーヒャラ…聞こえ お祭りの

みる。 性とみる。 陽 陰 します。 男と女の 性で活動 性で静かな字句 仕事は男性と 的な字句は男 場 合、 は女性、 字 句 t

で、番号を裏返してみる。 大吉は大凶 番と百番を総体的に見 通じるの

ぞれの判断です。

判断する。 辛抱の長短を字句の上で い場合でも上向きになる。 る大吉がある。 の有る大吉と下 同じ大吉でも、 反対に悪 向きにな 将来性

いる。 以 は 一心に願えば必ず、 じをひいたと伝えられて 十三返し願文を唱えてく 言を千返唱え、 昔 って判断することです。 出るという固 は観音経 おみくじを信じて、 を三 礼拝を三 い信念を 巻とご真 お答

とができるでしょう。

だきまし 容深いご講義をしてい 回も福田 先 生 途 中 には、 綾 瀬 内 0 女 双

情の有る時間でした。先くじの講義に相応しい風 てきたりして、 生ありがとうございまし 「吉田さんの月筮に 誠におみ

いて」



方と、心から話し合うこ す。家にいるもう一人の 持って参加されておりま 今日は吉田さんは真心を 二十二番 れてきた。良い卦です。 雨が過ぎて竹の 沢中孚』です。 めくって占ってみます。 今日 は 吉、 観音 易では 籤 青 0 葉 百 が 「風 番

十月 りたいこともあるけど欲 ものを大切に、新たにや 女子裸身の象です。古 『履』は女性の鏡を表し、 法通りにしましょう。 天沢履 肩 お付き合いも、 今まで通りに 任 せる話

れるでしょう。

物事を決 教えてく

き合いが有り、

見識の有る上の人との付

神的に飛躍する時です。

心、魂を見つめて、

生を親しむことです。

五.

望階を後にしました。 と味わい乍ら一巡して展

『比』は人と親しむ、

れてますし、 せば、 に直したら良いでしょう。 は六年前のことを思 んできているので、 はずです。 随分と成長してきてい りま 心の拠り所が生ま 被せた歯が痛 今日の自分 健康面では ある 中旬

都は咲く花の あおによし ま盛りなり 大川法祥 余良 黒うが

月末に色々の問題は作

に基づいて行いなさい。

水地比

久々に訪れました。 だ青春時代を懐かしみ つ心のまほろば奈良路 頃良く 口ずさん を

達が人懐っこく近寄って 合わせ国立博物館への道 きます。 踏み入れると小群れの をそぞろ歩き公園に足を つめる行基菩薩様に手を 鹿

有

できることがあるでしょ

東北から喜びが来る

とが大切です。

冬に納得

駅前の立像東大寺を見

断する時

は、心を聞くこ

ります。

実際にご講義を

鹿

せんべいを「バリバ

黄色に輝いている美しさ

本

講義はこれで終わ

を感じるひとときです。 とアイコンタクト、 リズムが腕を伝わり生命 リ」と美味しそうに食む 好き!愛らし 力を感じるこの感触が大 平安時代中期、 い円らな瞳 仏法が 幸せ

努力によるものではくて

るものではなく、

本人の

に響くお言葉があります。 お聞きしますと随所に心

修業とは教えられてす

はならない。

」有り難い

お言葉に深く感謝いたし

を著し、死 生する為の 広まりまし 天 八台僧 『源 た。 の迎え方を指 信 「往生要集」 その は極楽往 時

その「千年忌特別展」 望できる贅沢さ。 内全景がパノラマ 階へと参ります。 ない奈良県庁の屋上展望 の秘かな楽しみ、 ています。(九月三日ま にはほとんど知られてい 奈良国立博物館で催さ 南しました。 博物館に先立ち、 観光客 奈良市 的に 私 眺 れ が

私は今、その違反の高所

ました。

です・・・・云々」と。

南書『往生要集』を著し

何とも複雑な気持ちにな に立って居る・・・・と

今日が最後かも・・・

切 北には正倉院, 寺・五重塔・猿沢の池 は大和三山を背景に興福 春日大社・大仏殿。 東には若草山・春日 \mathcal{O} 草 りと鎮まっています。 陵・光明皇后陵がひっそ 背に平城宮跡 西には信貴山 光を浴びて部分的に れ間から差し込む太陽 山の鮮やかな緑が雲の が広がり、 · 生駒山 聖武天皇 南に Щ 萌

衰える末法の世が到来し 浄土信仰 が 気も無駄ではなかったと に来られました。すかさ に唯一人見惚れていると、 た内容に驚くと共にチャ その質問に答えて下さっ ガードマンさんが見回り ンスを逃さず会話する勇 入り ま

> によると許可できないん い建物は最近の県の条例 さは違反なんですよ。 も無いのに人間の本 興福寺 本当は、この屋上の 声を潜 の五重塔より高 て (その 必 あ

歩を進めました。 思い見学、 道の横筋を寄り道すると 氏の原点が探られ裏参道 いを馳せ乍らゆったり んで暮らされた日々に思 の清楚な雰囲気にとけ込 感じる佇まいに入江泰吉 いました。これも御縁と の旧居が一 続けた写真家入江泰吉氏 を半世紀にわたって撮り 奈良に生まれ奈良の風物 この後東大寺への正 昭和を色濃く 般公開されて لح 参

して近寄って来ます、 館 れをくぐり抜け漸く博 歩く先々に鹿達がたむろ できていました。 観光客で賑わい、 へ辿り着きました。 りの前には長蛇の列が 東大寺は多くの外国 台 源 信 参道を 柱の穴 は 現 そ 在 物

修

比叡山 才にかけて極楽往生の指 道修行に励み、 は十代で ています。 比叡山に入り仏 の恵心院に 『恵心僧都』 42 歳 〜 生ま 源信 43 住

う。 えとなったのでしょう。 ら向き合って生きていく ま 極楽浄土信仰 せきらびやかで艶やかな 信仰は一層の高まりを見 ても過言では無いでしょ 世界のイメージの多くの 現代迄日本人が持つ死後 なく死を迎えるための支 人々にとって恐れること の実践的な指南は多くの 為の死の迎え方について 元は源信に行きつくといっ れました。 源信の没後極楽浄土 極楽に往生する 死と正面か の造形が生

思想的に確立したのです。 誰もが願った極楽往生を 天台教学に裏付けられた 来の念仏観に対して正 ぐくんできましたが、 わたって日本人の心をは 道を極めて行きたいと。 往生要集』の念仏観 浄土思想は千数百年に しく書い 従 統 かも知れませ チャルな世 六道世界等

衆に広 なりました。 於ても特筆 ま ŋ 日 本思想史に きもの

となって染みつ その決意は私の心の基盤 た事を思い起こしました、 いけない!」と心に誓っ 帳された絵図に怖れ が幼少の 獄絵は正視に耐え難く私 『六道絵』の全15 絶対悪いことをしては 堂に展示さ 頃 秋祭りの れ た国 てい 、慄き 折 \mathcal{O} 開 地

輪廻 転 生 因 果 心報

た。二十五菩薩坐像に た世界が広がってい と極楽浄土の光に包まれ 入れるとそこは一転来迎 ま第二会場へと足を踏み かり悄気込んだ思いのま 紙や六道絵に圧倒されすっ 抱くきっかけとなったの をよぎりそれ等がスピリ 界観に興味 々の言葉 地獄草 ・まし が を 頭

世を厭い来世に浄土を 欲望や悩みに満ちたこの B 願 迎えて下さいました。 雲中供養菩薩像が優 かれる様に歩を進めると

0

コアの

部分には

清

よくなる。

平成29年11月吉日 ると矢張り京都 さに平等院

が先導。 高傑作です。 図』(平安時代十二世紀 前を観音菩薩と勢至菩薩 は往生の瞬間を描 に阿弥陀如来が座しその 国宝『阿弥陀聖衆来迎 横笛、 周囲には太鼓や 琵 中央の蓮台 いた最

る雲と共に臨場感たっぷ ちりきを手にした菩薩た 優雅に躍動感のあ 臨 医師による学理的 たのでしょう。 Þ 時代が移り来て最

な臨床。

近

6 中心に多くの菩薩像によ ること乍ら阿弥陀如来を 麻寺所蔵 る様です。 徳川家康の追悼の為に織 なく江戸時代の作品で 室町時代のもので の當 圧巻は奈良當 大きさもさ 麻曼陀羅で

理解できたように思い 源 て極楽への扉が開かれて が くのだよ!と恵信僧都 っていました。 こうし 意図が ま

き乍らの歩みの日々。 良く生き」 っていても煩悩が 良く よたよたと躓 為に 然 頭

らかな思いを持ち と切に思い 乍ら帰 続けた 途に 修養すれば自らよくなる。 ならないのである。 運 も相も結

を思

浮 カン

力に頼らざるを得なか 一・怨念の祟り として神仏や陰陽師 厄病の蔓延等は全て 先の時代には 因果の 天 変 地 つ せ かった。 ことは知っておるけれど そこで昔から本当の学者

めて生きたいと思いまし 飄々と残る人生を受け止 何 科学的な説明等多様です 又スピリチャルな世界観, なって出版されています。 \mathcal{O} なのでしょうか?私は 終のありようが著書と の世も変わらないも 死に対する恐怖心は

なる音楽の響きが聞こえ

りに描かれ

ています。

ちが、

を高

尽き仙厓枯

「れて、

迥

冬になれば、

『木落

有

る来迎と極楽の風景が広

ない。 6 結局心を養わなければな 運をよくしようと思えば、 運も良くなる。 をすれば人相もよくなり、 ことは学問をすることで、 れば運もよくなる。然し は相に現れ、 味の形相 たなければ、 間 結局運というも は深い 心を養うという ・色相は養われ 意味の学問 相がよくな 精 す 本当の意 べてが 生

てくる。

『菜根譚』にも

が掩うところなく現われ 廃れて、その人の真実我

引いているが、

誠に人の

截を看よ』という古語

『人を看るには只、後

半

晩年は一生の総決算期で、

その人の真価の

定まる時

学問 12 他 五箇条 人に嫌わ

局は学問

〇初対面に 無心

○批評癖を直 にならぬこと。 どうしても有心で接す く慢心や偏見があり、 有能な人間ほ 、これはいけない。 悪 口屋 とか

敢えてそれを説かな

○好悪を問わず、 を尽くすこと。 のに平生注意すること。 いことが行われている

人物の根本

これが大切です。 ないというのではならな 力であり、気迫 う たる迫力を持っている、 てはならない、 つまり神経衰弱的 す。生命力に富んでいる、 は することのできない根本 いうことを言うのであろ い、根本に於いて肉体精 何か。それは我々の活 か。・・・・まず看過 人物ということはどう 意気地が でありま であ 0

て、

容色は衰え、矯飾は

うに、人間も年寄るに随っ 天地の眞吾が現れる』よ

引涼子・凛百果・松浦優

崎さち子・

神崎ひとみ・

れないため の NPO通

で接する

相や運の大事な

○世の中に隠れて案外善 ○努めて、人の 所をみること。 美点 良

◎九月十六日~ 定会の報告

出 無料鑑定会を行いました。 六人の相談者でした。 定でした。 今回は期間中五日間の鑑 演の先生は 本占術協会様と協賛で 郵政博物館(ソラマチ) 十一月二十六日 毎回一人十五、 (敬称略

先生方が鑑定なさりま 郎・えびすや真朱・佐藤 朱扇・泰山林翰・金原太 宗眩・協会からお二人の 不同)小松輝子・牧 野

◎十月十五日

された先生は協会から を受けました。 次回もご協力を、 江東区長も大喜びでまた 談者の鑑定を致しました。 大盛況で百八十四人の相 当日は小雨模様でしたが、 催いたしました。 と協賛で無料鑑定会を開 ターにて日本占術協会様 江東区古石場文化セ 有倭• 順不同) 山田倫子・ 有宵会からは 川又早苗 当日 の要請

次回 の例会

平成三十年

月

一十七日

足立 区 勤労福祉会館 プルミエ

平成三十年の年筮と 十九年を振り返って

◎恒 願い参拝致しました。 人の方々が来年の招福を に浅草長国寺様へ百三十 十一月六日(月) お西様 0) 酉

御世の交代もチラホラ耳 えとした一年でした。 暑、秋の寒暖差、 なくなりました。 よらない体験等で冷え冷 平 -成二十九年も残り 思いも 夏の酷

新しい年をお迎えくださ 会員の皆様にはお元気で お祈りしたいと思います。 平穏な年でありますよう、

鑑 お 定

のお参り 〇明年二 を予定し 月ごろに、 ており 新春

伊 璃香